

今後の取組み

■浜名湖エコワークショップ

様々な専門的な知識や情報を持つ方の協力を得ながら、浜名湖の環境に関するデータを収集して、浜名湖の課題解決に向けた話し合いを行います。今年度は、浜名湖の湖岸の状況を湖面側や陸側から調査し、手づくりでデータをまとめていきます。11月～12月にかけて行う予定で、日程は改めてご案内します。



■浜名湖環境保全団体交流会

浜名湖の環境保全・活用に取組む団体や企業が集まり、互いの活動を知り合い、交流・連携につなげていく場があります。環境に関して取組む実践者を招いた講演会も計画しています。



実施は、来年2月後半～3月上旬の休日に行う予定です。

■企画運営部会

今後のネットワークの活動、目標や運営のあり方について、企画運営部会の中で検討していきます。部会メンバー以外でも登録団体の中で関心がある方は参加大歓迎！

ネットワークに新しい仲間が入りました（85団体）

はまなご環境ネットワークに新しい仲間が入りました。

NPO法人ひずるしい鎮玉（しずたま） 浜松市北区引佐町 電話 053-544-1045

当団体は、浜松市北区引佐町の中山間地域で川・農・里の3つの分野の事業に取り組んでいます。的場四方浄・田沢・別所の3地区には、静岡県西部一のホタル生息地と呼ばれる豊かな自然があり、「ホタルの舞う里づくり」に取り組んでいます。ピオトーブづくり、川遊びができる環境の復元整備、環境教育プログラムの実施しています。また、地域のデータベースを作り、荒廃山林の林床を活用して薬草などの販売を実施中。



浜松地域資源活用研究会 浜松市中区常盤町 電話 053-455-0220

研究会は、浜松地域の竹林、森林、アオサ等の資源が活用されず、困りものとなっています。その資源を有効に活用することを研究し、コミュニティビジネスにも活かしていく活動に取り組む団体です。

特に浜名湖周辺には多くの“竹林”の管理や被害で困っており、現在竹資源を効果的に活用できるよう研究を中心に取り組んでいます。



【事務局からのお願い】 団体のイベントや活動情報をお寄せください。

浜名湖周辺で環境に関するイベントや活動の情報があれば、資料をメール・FAX等で送ってください。登録団体や広く一般に情報発信していきます。

また、浜名湖の環境に取組む団体・企業を紹介してください。

Email info@shizuoka-t.net 電話 053-458-3480 FAX 053-455-0328

はまなご環境ネットワーク 広報誌

はまなご環境通信

発行／はまなご環境ネットワーク

発行日／平成27年9月25日

事務局／NPO法人地域づくりサポートネット

浜松市中区常盤町133-13 TEL053-458-3480

Eメール info@shizuoka-t.net

第25号

はまなご環境ネットワーク 新たなスタートへ！！

5月22日（木）「はまなご環境ネットワーク」の平成27年度総会が開催され、ネットワーク節目の10年を機に、いろいろな見直しや再構築を行っていくことが話し合われました。



ネットワーク発足10年を機に、マンネリ化しないようメンバー（団体）に必要とされる活動のあり方について、中期的な視点で企画運営部会などで議論を重ねていくことになりました。

<主な事業>

- 1) 一般県民への啓発活動
 - 親子体験型環境教育（エコキッズ体験塾）
- 2) スキルアップ
 - 浜名湖を知るための講演会、勉強会等（エコワークショップなど）
- 3) 連携の基盤となる情報の受発信
 - 広報誌の発行
 - 情報交換のための受発信機能
 - 環境に関するデータ収集
 - 会員のニーズや問題点、課題の把握
- 4) 会員相互の交流
 - ネットワーク会員相互の交流促進
- 2) 発表会、交流会、ワークショップ
- 5) 連携のつなぎ、コーディネート
 - ・相談、助言、紹介、提案



浜名湖アマモ活用プロジェクト

はまなご環境ネットワークでは循環型の環境保全活動に取り組んでいます



湖岸に打ち上げられて悪臭を放つアマモを回収
窟山寺温泉サンビーチ海岸



「海のゆりかご」と言われるアマモは、昭和40年代以前は肥料として活用されていたが、化学肥料の普及で使われなくなり困りものになってしまった。



村瀬の遊休農地で畑の堆肥として活用



秋に種まきした大根を冬に収穫

<理念とプロジェクト>

- ラムサール条約の理念に合った活動
 - ーラムサール条約湿地の考え方（ワイズユース）を取り入れた活動（理念）
- アマモ利用プロジェクト
 - （NWの象徴的なプロジェクト）
 - ー地域の歴史や文化を大切に活動
 - ー循環型環境保全社会への取組み
 - ー企業、市民団体、観光、農業、漁業など多様な主体の連携による活動

浜名湖の湖岸漂着状況（6/7浜名湖クリーン作戦）

浜名湖の湖岸の状況

6月7日（日）浜名湖クリーン作戦の日、浜名湖の湖岸「浜名湖周遊サイクリングロード」を自転車で廻って、湖岸の漂着物を調査しました。

休日ということで、たくさんのサイクリストが浜名湖周遊自転車道を走っていました。



▲浜名湖の湖岸を自転車でめぐる



湖岸の漂着物調査エリア

館山寺温泉のサンビーチ海岸から村櫛方面に湖岸沿いに進んでいくと湖岸は所々「アオサ」がいっぱい堆積していました。アマモやごみなども交じって漂着しており、内山海岸などは異臭を放っていました。



▲アマモ・アオサが漂着し悪臭を放つ「内山海岸」



▲自転車道沿いには「アオサ」が大量に漂着

村櫛の海岸では、清掃活動と併せて宮本肥料店さんがアマモ+もみ殻で循環型の堆肥を作るために「アマモ」を回収していました。



▲村櫛でのクリーン作戦は、アマモを回収



▲回収したアマモを堆肥にするために運搬

今年の秋には、湖側と陸側から湖岸の地形や漂着物、植物などの状況を調べるための試験的な調査を行う予定です。美しい浜名湖を保全していくためのデータ収集として、湖底の深さや堆積物などの状態を調査していく計画があります。

～活動団体の取組み～

当ネットワークに登録する団体等の活動現場を訪問し、活動の見学や取組みを取材しました。

■NPO法人はまなご里海の会

浜名湖の水産資源と自然環境を守り、その魅力を伝えていくことを目的に活動しています。自然観察会やタッチプール・海苔好き体験・漁師の恵み体験などの自然体験プログラムを行っています。

「浜名湖無料地引網体験」

8月29日（土）、館山寺サンビーチで無料の地引網体験を開催しました。夏休み最後の週末、150人余りが参加し、大人も子どもたちも貴重な夏の思い出になりました。

はまなご里海の会メンバーの指導・協力のもと、地引網の網を引き、たくさんのいきものを捕獲しました。いきもの観察会では魚に触れたり、魚の名前や特徴、浜名湖のいきものについて話を聞いたりして、浜名湖には800種の魚介類が生息する豊かな湖だということ学びました。

1日コースに参加した方は、地引網の他にも船による浜名湖縦断遊覧とバーベキューで昼食を楽しみ、普段なかなか見ることのできない船からの景色も貴重な体験になりました。

これは、「Green Giftプロジェクト」という東京海上日動の環境保護活動の協賛をうけて、はまなご里海の会がNPO法人日本NPOセンターとの共催で実施したものです。



船からの湖上の景観を堪能



サンビーチでの地引網



いきもの観察

■NPO法人むらちゃネット

地域の浜名湖ガーデンパーク内にある「お食事処むらちゃ」の運営と、子ども向け自然体験イベントや農作業体験教室などを開催し、「健康な町づくり」「地域の環境保全」を目指して活動しています。

地域の小学生や浜松市内の高校生の体験受け入れでは浜名湖を訪れた方に楽しんでもらうようにコスモスやひまわりの花畑づくりをしたり、水田でのお米づくりをしたりしています。

「そばの栽培」

昨年からは「そば」の栽培も始めました。昨年はあまりたくさん収穫できませんでしたが、白い花とコスモスの赤やピンクの花が咲くきれいなお花畑は道行く人々を楽しませていました。

今年も秋そばの種をまき、たくさんの種が芽を出しました。これからの季節、台風なども心配ですが、11月には「そば打ち体験」を計画しています。

興味のある方は参加してみたいはかがですか。

問合せ ☎053-488-0800



ひまわり畑



村櫛の耕作放棄地を活用した「そば畑」